

日本天台における

根本思想の展開

おおくぼ りょうしゅん

大久保良峻著

▼A5判・上製函入・471頁 定価九、九〇〇円

2024年3月刊行

日本天台における根本思想の展開
大久保良峻

法藏館

天台仏教と密教が根本法門である日本天台宗。その継承と展開は、多彩な成果として結実する。さらに中世の天台宗における最澄説の独特な受容を解明。

【目次】

はしがき

I 思想基盤の樹立と展開

最澄から安然へ——初期日本天台の根本的展開
平安初期における日本密教の樹立と教学交渉
日本天台の仏身観に関する若干の問題——自受用身を中心に

II 基本思想の解明

六種震動と天台義
台密に見る密教の東漸——円仁撰『金剛頂経疏』の教学的特色を中心に
台密の十界説
台密の時間論

III 現実肯定思想に関する諸問題

天台本覚思想と台密
証真の教学と天台本覚論
自受用身に関する若干の問題——前後自受用を中心に
『例講問答書合』に関する基礎的問題
自受用身に関する天台論義から見えるもの
日本天台における現実肯定思想と仏身に関わる若干の問題

IV 安然説の基礎的研究

安然撰『教時問答』の基礎的考察
安然における台密教学の特質——仏身と説法
初任位尊重に関する安然の円密一致観

V 訳註 安然撰『教時問答』巻四

「五重玄義第五 判教章」十門解釈

安然撰『教時問答』巻四「五重玄義第五 判教章」十門解釈

はじめに

- 第一、説 四種曼荼羅身説法
- 第二、語 三語は皆是れ秘教
- 第三、教 理秘密と事理俱密
- 第四、時 一時・一処
- 第五、蔵 一・二・三・四・五蔵等
- 第六、分 十二分教
- 第七、部 三部・五部等
- 第八、法 胎藏界の三種・四種、金剛界の四種・五種・六種・九種法
- 第九、制 輒く真言を説くを誡む
- 第十、開

あとがき
索引

大久保良峻（おおくぼ りょうしゅん）

一九五四年、神奈川県に生まれる。一九七八年早稲田大学第一文学部（心理学専修）卒業。一九八三年早稲田大学大学院文学研究科修士課程（東洋哲学専攻）修了。一九八九年同博士課程退学。二〇〇二年博士（文学）早稲田大学。現在、早稲田大学文学部教授、天台宗勸学。
著書『訂増天台教学と本覚思想』、『台密教学の研究』、『最澄の思想と天台密教』、『伝教大師 最澄』。編著『新・八宗綱要』、『天台学探尋』以上、法藏館。『山家の大師 最澄』（吉川弘文館）。『日本仏教の展開』（春秋社）など多数。

注文書	様冊
(書店印)	
ご担当	
法藏館	定価 九、九〇〇円
大久保良峻著	住所
日本天台における	お電話
根本思想の展開	お名前
ISBN:978-4-8318-6280-8 C3015	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏教・天台